

令和2年度(2020年度)用

小学校算数科用

---

---

「新しい算数」  
年間指導計画作成資料  
複式  
【5・6年】

---

---

令和2年(2020年)2月14日版

※単元ごとの配当時数、学習内容などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

# 新しい算数 第5・6学年（複式）年間指導計画案(基底)

## ■活用の際の留意事項

- (1) 時程の組み合わせ方は各学校で柔軟に調整する必要があります。
- (2) 配当時間が単式の場合と異なる単元がありますが、これは2つの学年の内容を組み合わせる都合などによるものです。
- (3) 学習内容の詳細は、単式用の指導計画作成資料を参照してください。

## ■指導計画

- (1) 単元名の「1」「2」などは複式学級での配当時数を、[1]、[2]などは単式学級での配当時数を表しています。
- (2) 「単元名・学習内容」の「:」は、共通あるいは類似の学習活動を示しています。

月	時間数	単元名・学習内容		留意事項
		5学年	6学年	
4	5年 1	★学びのとびら (上p.2~7) 1[1]	★学びのとびら (p.2~7) 1[1]	両学年とも既習学習を想起する。今後も、既習事項を生かして学習を進めていくことを本時で共通して確認したい。
	6年 1			
	5年 5	1. 整数と小数 (上p.8~15, 142) 5[5]	7. 円の面積 (p.104~118, 263) 7[6]	同じ領域の学習内容が重なる場合は、関連づくように活動の構成などを工夫する。
	6年 12		2. 文字と式 (p.24~32, 258) 5[5]	
5	5年 12	2. 直方体や立方体の体積 (上p.16~31, 143) 8[8]	8. 角柱と円柱の体積 (p.120~127, 263) 5[5]	両学年とも、体積についての学習内容なので、それぞれの立体の体積の求め方や公式を関連づけさせながら、体積についての量感を豊かにすることができるように活動の構成などを工夫する。
	6年 10	3. 比例 (上p.32~38) 4[4]	9. およその面積と体積 (p.128~132) 5[5]	
		○立体の体積について、単位と測定の意味、求め方を理解し、公式を用いて計算で求めること		
		[2. 直方体や立方体の体積] ●体積の単位「立方センチメートル」「立方メートル」 ●直方体、立方体の体積公式 ●複合図形の体積  [3. 比例] ●比例の意味	[8. 角柱と円柱の体積] ●角柱、円柱の体積公式  [9. およその面積と体積] ●概形を基本図形とみなした面積、体積の概測	
6	5年 27	4. 小数のかけ算 (上p.40~51, 144) 10[9]	3. 分数のかけ算 (p.34~52, 259) 13[13]	両学年とも、同じ領域の学習内容である。5学年は小数、6学年は分数と扱う内容に違いはあるが、いずれも既習の整数の場合と関連づけながら、立式や計算の仕方について考えるという共通のねらいがある。なお、練習や習熟の段階では、6学年が5学年の学習を支援するなど、複式学級のよさを生かす活動などの工夫も考えられる。
	6年 26	5. 小数のわり算 (上p.52~63, 144) 10[9]	4. 分数のわり算 (p.54~69, 260) 8[7]	
		★小数の倍 (上p.64~69) 5[5]	★分数の倍 (p.70~73) 3[3]	
		★どんな計算になるのかな? (上p.70) 2[2]	★どんな計算になるのかな? (p.74) 2[2]	
		○乗法と除法の意味について、整数の場合と関連づけながら、小数・分数の場合へと拡張すること		
		○乗法と除法の計算の仕方について、整数の場合と関連づけながら、小数・分数の場合へと拡張すること		
		[4. 小数のかけ算] ●乗法の意味の拡張 ●小数をかける乗法の筆算形式 ●乗数の大きさと積の大きさの関係 ●乗数が小数のときの公式や交換、結合、分配法則の成立	[3. 分数のかけ算] ●分数をかける乗法計算 ●乗数の大きさと積の関係 ●乗数が分数のときの公式や交換、結合、分配法則の成立 ●逆数	
		[5. 小数のわり算] ●除法の意味の拡張 ●小数でわる除法の筆算形式 ●除数の大きさと商の大きさの関係 ●余りの位取り ●商の概数処理  ★小数の倍  ★どんな計算になるのかな?	[4. 分数のわり算] ●分数でわる除法計算 ●除数の大きさと商の関係 ●乗除混合計算 ●分数、小数、整数の混じった乗除計算  ★分数の倍  ★どんな計算になるのかな?	
7	5年 9	6. 合同な図形 (上p.72~83, 144) 9[8]	1. 対称な図形 (p.8~23) 13[12]	両学年とも、図形を考察する新たな観点についての学習内容なので、作図したり弁別したりする活動などを関連づけながら、図形に対する感覚を豊かにすることができるように活動の構成などを工夫する。
	6年 13			
		○合同という観点から既習の図形を見直したり、図形の決定条件をもとに作図したりつくったりすること		
		○対称性という観点から既習の図形を考察し、図形についての理解を深めること		
		●合同の意味、合同な図形の弁別 ●合同な図形の性質 ●合同な三角形の作図と三角形の決定条件 ●合同な平行四辺形の作図	●線対称な図形、対象の軸の概念 ●線対称な図形の性質とかき方 ●点対称な図形、対称の中心の概念 ●基本図形の対称性の考察	

月	時間数	単元名・学習内容		留意事項
		5学年	6学年	
9	5年 12 6年 9	8. 偶数と奇数, 倍数と約数 (上p.96~109, 146) 12 [12]	5. 比 (p.76~88, 261) 9 [8]	
	5年 21 6年 11	9. 分数と小数, 整数の関係 (上p.110~119, 146) 6 [6] 10. 分数のたし算とひき算 (下p.2~18, 144) 11 [11] ★差や和に注目して (上p.120~121) 2 [2] ★日本をおとずれる外国の人たち (上p.122~123) 2 [2]	6. 拡大図と縮図 (p.92~103, 262) 9 [8] ★陸上競技の記録について考えよう (p.90~91) 2 [2]	
10	5年 17 6年 18	11. 平均 (下p.20~27) 5 [5] 12. 単位量あたりの大きさ (下p.28~42) 11 [10] 16. 変わり方調べ (下p.95~99) 1 [1]	10. 比例と反比例 (p.136~162, 264) 18 [15]	
	5年 17 6年 11	7. 図形の角 (上p.84~95, 145) 6 [6] 13. 四角形と三角形の面積 (下p.44~64, 145~146) 11 [11]	11. 並べ方と組み合わせ方 (p.164~173) 7 [6] ★全体を決めて (p.134~135) 2 [2] ★関係に注目して (p.174~175) 2 [2]	
1	5年 18 6年 13	14. 割合 (下p.66~82) 10 [9] 15. 帯グラフと円グラフ (下p.84~94) 8 [8] ○目的に応じて, 資料をもとにグラフや表を用いて表したり, 特徴を調べたりすること [14. 割合] ●割合の意味とその求め方 ●百分率の意味とその表し方 ●歩合の意味とその表し方 ●百分率を適用した問題の解決 [15. 帯グラフと円グラフ] ●帯グラフ, 円グラフの読み方, 特徴, かき方	12. データの調べ方 (p.176~195) 13 [13] ●代表値としての平均 ●ドットプロット ●最頻値 ●度数分布表 ●ヒストグラム ●中央値 ●いろいろなグラフの特徴と読み取り	両学年に同じ領域の学習内容があるため, その指導の際には共通のねらいをもつように工夫する。6学年が5学年の学習を支援するなど, 複式学級のよさを生かす活動などの工夫も考えられる。
	5年 20 6年 27	17. 正多角形と円周の長さ (下p.100~113) 9 [9] 18. 角柱と円柱 (下p.114~123, 147) 7 [7] ★もとにする大きさに注目して (下p.124~125) 2 [2] ★国土をくわしく調べよう (下p.126~127) 2 [2]	★情報通信技術の進化や利用について調べよう (p.196~197) 2 [2] 13. 算数のしあげ (p.198~227) 25 [25]	同じ領域の学習内容が重なる場合は, 関連づくように活動の構成などを工夫する。
3	5年 5 6年 13	★5年のふくしゅう (下p.128~132) 5 [5]	★算数卒業旅行 (p.228~240) 13 [13]	両学年とも, 既習の復習になるので, 同じ領域で共通性のある学習内容については, 関連づけて扱う。
		予備時間 11	予備時間 11	